



# 東中学校だより

令和3年9月30日 第7号  
文責 校長 下村 治

学校教育目標 ○進んで学ぶ生徒 ○心豊かな生徒 ○身体をきたえる生徒

## 緊急事態宣言下、オンライン授業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されたことにより9月7日(火)から9月10日(金)まで4時間授業の短縮日課となりました。その間、GIGAスクール構想によって生徒一人一台配置されたタブレット端末を活用したオンライン授業を実施しました。

生徒は、給食後下校し、自宅においてタブレット端末で双方向会議システム(Teams)にログインし授業に参加しました。このシステムでは教師から一方的に情報(授業)を配信するだけでなく、教師・生徒間や生徒同士の顔や表情を確認でき、また質問や課題の配信・解答・提出もできます。実施教科は学年、学級ごとに設定しました。1日1時間(第5校時相当)の実施でしたが、教科の特性も配慮しつつ、担当の教員がオンラインでも理解しやすいよう、教材を工夫しながら授業を実施しました。

また、翌週からは体調不良やワクチン接種等で出席停止の生徒が増えたことに対応し、一部の授業において教室での授業の様子をライブ配信し学習保障への取り組みも行いました。

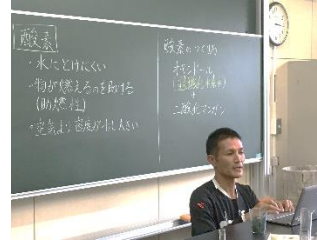
今後も必要に応じてオンライン授業が効果的に実施できるよう、教員の指導スキルの向上と、生徒の端末活用能力の育成に努めていきます。(写真は授業配信する教師の様子の一部)



2年理科



2年英語



1年理科



3年国語

## 全国学力・学習状況調査及び埼玉県学力・学習状況調査の結果から① (質問紙調査)

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が全国的に子供たちの学力状況を把握するために小学校6年生と中学校3年生全員を対象に実施されるものです。また、埼玉県学力・学習状況調査は、県教育委員会が一人一人の学力の伸びを把握するため小学校4年生から中学校3年生までを対象に実施されるものです。この結果が出ましたので、今回は「質問紙調査」について、本校の特徴的なものを報告します。

【全国学力・学習状況調査：質問紙調査】(中3)

- ◎学校に行くのが楽しい。(「当てはまる生徒」本校 56.9% 全国 43.3%)
- ◎地域の行事に参加する。(「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」本校 59.6% 全国 43.7%)
- ◎学校でPC等ICT機器を、意見交換や調べものに使っている。(「ほぼ毎日」本校 22.0% 全国 9.7%)
- △朝食を毎日食べてくる。(本校 77.1% 全国 81.9%)
- △「自分には良いところがある」「将来の夢や希望を持っている」生徒の割合が埼玉・全国より低い。
- 家庭学習の時間は、全国に比べ「3時間以上」の生徒は多いが、「2~3時間」の生徒は少なく、また「30分以下」の生徒は全国より多い。また、土日に「まったくしない」生徒も多い。

【埼玉県学力・学習状況調査：質問紙調査】(中1~中3平均的傾向)

- ◎「県や町の歴史や自然に関心を持っている」生徒は全学年、県平均を大きく上回っている。
- △「1か月に1冊も本(教科書・参考書以外)を読まない」生徒の割合が全学年県平均より高い。
- △「土日に家庭学習をまったくしない」生徒の割合が県平均より多いが、特に中2、中3でその差が顕著である。

なお、埼玉県学力・学習状況調査の結果は、学年ごとにその実態から差があります。また、これらの課題は学校と家庭で連携して取り組む必要があるものも多いと感じます。ぜひ、学校と家庭が子供たちの教育の両輪となるよう、ご理解とご協力をお願いします。

## 生徒会本部役員選挙が行われました。

9月22日(水)に生徒会本部役員選挙立会演説会と投票が行われました。立候補者はポスター作成や挨拶運動、選挙公報の作成など事前の選挙運動に取り組んできました。当日の選挙演説はオンラインとなりましたが、2年生4人、1年生6人の立候補者とそれぞれの応援演説者は、モニターを通してしっかりと自分の意見を全校生徒に届けることができました。候補者一人一人は、みな学校生活をよりよくするために自分は何をすべきかをよく考えており、選挙結果にかかわらず、立候補した全員の意欲は素晴らしいと評価できます。

同日行われた投票についても、投票所となった体育館には、本物の投票箱と記載台が用意され、選挙管理委員会による運営は、国や地方自治体の選挙さながらのものとなりました。民法改正に伴い選挙権が18歳となりました。中学3年生は3年後には有権者になります。こういった取り組みが主権者教育につながればと考えています。

なお、この日は町の選挙管理委員会から6人の委員や事務局の方が視察に来られ、選挙演説から投票の様子まで参観していかれました。



## 東中生徒の活躍 (比企地区英語弁論大会)

9月17日(金)に比企地区英語弁論大会が開催されました。本年度はオンラインによる実施となりましたが、3年生の吉野凌慈君が出場し、見事第2位で県大会出場が決まりました。「Rainbow」という題でLGBTを取り上げたものでした。県大会での活躍も期待します。



## 埼玉県からのお知らせ

### <11月1日は「彩の国教育の日」>

県では、教育に関する理解を深めていただくため、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

例年、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、学校公開や親子向け体験教室などの事業を多数実施していますが、今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くの事業が自粛されています。このような状況だからこそ、身近な人と「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さや思い出について語り合ってみませんか。ほっこりした話題で、元気で明るい気持ちになる教育週間にしましょう。

詳しくは県ホームページを御覧ください。

問合せ:小川町教育委員会学校教育課(TEL 0493-72-1221)

:埼玉県教育局生涯学習推進課(TEL 048-830-6972)



▲シンボルマーク